

時事新報

第九議會

は本日とて東京に召集せらるる大戦争後のみとして議... 其初めに於ては此論の勢力も強からず多々多数を制す... 了したる後政府の失敗を問ふことと決したるに云へ

英國の孤立 我英國中には露國が旅順口を占領せんとす... 支那の國運を露の掌中に一任するは危懼千萬なれば寧ろ之を苦心なき日本の手に移すも我國の利益なれば然れども今日各國の君主中にて支那帝は露國を料理するの法を知らざるものなく既に彼國は支那を助けて他國に呑みこめらるるや自然の數なれば斯る國を助くるは例々以て自家の煩累を増加するのみ

衆議院議員の異動 第八議會より衆議院議員にして死去したる者四名、辭職したる者四名、貴族院議員に擧げられたる者一名なり其姓名、擧げられたる者等は左の如し

- 長崎縣 第一區 辭職 芳彦(自由黨)
岩手縣 第三區 死去 伊藤 圭介(自由黨)
栃木縣 第四區 死去 田江 三郎(無所属)
鳥取縣 第二區 死去 田江 三郎(無所属)
兵庫縣 第三區 辭職 小田 健吉(自由黨)
山口縣 第五區 辭職 小田 健吉(自由黨)
大阪府 第一區 死去 栗谷 品三(無所属)
熊本縣 第一區 辭職 古莊 嘉門(國民協會)
熊本縣 第四區 貴族院議員 柴垣 伴三(國民協會)

京城事件被告人の責任保釋 京城事件の被告人にして責任若くは保釋を許さるるもの種々あり廣くは未決監に拘留せられたる堀口久一、佐藤敏太、淺山廣、鈴木順見の四氏は去る十九日保釋を許されて出立し堀口氏は堀川町静山館、佐藤氏は鐵砲屋町濱藤會、淺山氏は水金町岡本方、鈴木氏は天神町小田方へ投宿し翌二十日は第五師團警備隊に收禁せられたる瀧中佐實付を許され責任保釋人なる同市静山館に投宿し翌二十一日は廣くは未決監に拘留せられたる山田烈盛氏も保釋を許され堀川町静山館に投宿したり猶ほ後續々責任保釋を許され保釋を許さるるもの多かるべしと推察なり

東京商業會議所の臨時總會 同會議所にては一時午後五時より臨時總會を開き出席者二十五名にして臨時總會議長に若原中興に取換りしに第一號議案議員永福入氏擔任請求の件は之を承認する

多摩川鐵道の出願 神奈川縣下及び東京市の有志者共同して今度其筋に多摩川鐵道敷設の出願を爲したる由此鐵道は八王子より川崎に至る七十五哩間に敷設するものにして發起人には沿道町村の人多く其假事務所は首唱者なる日本橋區村松町二十九番地青木正太郎氏の宅に設置せり

京城と仁川の我居留民 去月三十日調査の領事館報告によれば京城在留の本邦人は男九百四十一人(前月より減五十二人)女五百七十八人(前月より増六十七人)戸數四百五十七(前月より増六十三)又仁川在留の戸口は男二千五百八十四人(前月より増七人)女五千五百三十五人(前月より増二十六人)戸數六百九十二(前月より増一戸)なり

朴泳孝家 門弟老師の恩に忠の道... 朴泳孝の夫人李氏と共に八の中へ用捨もなく閉用捨なく土間の上へ之命之を其夜の中王妃閣の沙汰とし酒し虎狼の餌食

金鎗勳章

- 第一等兵曹 堀井 昭海
第二等兵曹 吉田 文雄
第三等兵曹 小川 文雄
第四等兵曹 小見山 之助
第五等兵曹 小見山 之助
第六等兵曹 小見山 之助
第七等兵曹 小見山 之助
第八等兵曹 小見山 之助
第九等兵曹 小見山 之助
第十等兵曹 小見山 之助

三崎區の一月在官一番目 源平盛衰記三番目

三崎區の一月在官一番目 源平盛衰記三番目

三崎區の一月在官一番目 源平盛衰記三番目